

特定非営利活動法人東日本大震災子ども未来基金

第4回通常総会

議題1 平成26年度事業報告

前年度からの事業の継続として、東日本大震災で親をなくした小学生から高校生までの児童・生徒109人に対して月2万円の学資支援金を3か月ごとに支給、年度中の支給総額は2616万円になりました。これまでに当法人が学資支援をしてきた児童・生徒の総数は161人となりました。平成27年3月に6人の高校生が卒業してこれまでの卒業者は58人となったため、平成27年度の当初の支給者は103人となっています。

また、平成26年10月12日と13日に、宮城県の仙台大学で開かれた「第4回東北子ども博」では、当法人も実行委員会のなかに入り、山形県朝日町の蜜蝋作家、安藤竜二さんによる「ハチ蜜の森キャンドルづくり」、スポーツ鬼ごっこ協会の公式指導員（同協会の羽崎貴雄理事）を招いての「スポーツ鬼ごっこ」の各イベントを提供しました。子ども博は2日間で1万7000人の来場者でにぎわいました。安藤さんからは蜜蝋の材料費として徴収した売り上げ代金の全額（¥76,500円）を当基金に寄付していただきました。なお、子ども博実行委員会には、当法人から10万円の協賛金を寄付しました。

一方、収入では、26年度中の寄付金の総額は約4400万円になりました。多数の個人や団体、企業からのご寄付とともに、神戸で開かれたチャリティー音楽イベント「COMIN'KOBE」（平成26年4月、寄付額708万円）、ハイアット・リージェンシー東京と都内の料理店フランス人シェフ7人が主催したチャリティーディナー（同26年5月、同577万円）、熊本市の食品企業のヒライ（同5月、500万円）、心臓カテーテル技術の向上をはかる「NPO法人インターベンションのエビデンスを創る会」（同6月と平成27年2月、同437万円）、東京証券会館開かれた「義捐金セミナー」（同4月、同320万円）、東京・神楽坂で開かれた「神楽坂マルシェ」（同年4月と11月、同124万円）などから多額の寄付をいただきました。また、公益財団法人信頼資本財団からは、当法人を指定して、個人や団体から4回に分けて総計146万円の寄付があり、その同額が当法人への助成金として支給されました。あらためて寄付されたすべての皆様に深く感謝したいと思います。

この結果、寄付金による学資支援金の支給を主とする【基金の部】では、寄付金などの収入が4400万円だったのに対して、学資支援金の支出は2650万円（支

払手数料を含む) で、繰越金は 1780 万円となり、平成 26 年度末の基金の部の資産合計は 1 億 9575 万円となりました。また、初年度 (平成 23 年度) からの寄付金の総額は 2 億 8900 万円余 (23 年度 1 億 1300 万円、24 年度 7600 万円、25 年度 5600 万円、26 年度 4400 万円) となりました。

また、事務所の家賃、会計書類の作成、領収書や感謝状の送付、切手・はがき代などの【事務費の部】は、NPO 法人の会費などの収入が 35 万円だったのに対して、支出は 52 万円で 17 万円の赤字となったため、前期からの繰越金で補てん、今期末の資産残高は 113 万円となりました。